

# Mozal S.A.R.L.



 Mitsubishi Corporation

## モザンビーク概要

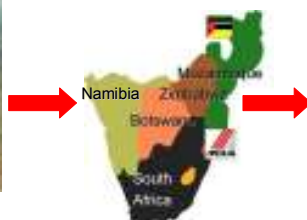
モザンビークー 一般情報 (リソース: Economist Intelligence Unit Country Profile 2006)	
① 面積	: 799,380 km <sup>2</sup>
② 人口	: 1980万人
③ 首都	: マプト
④ 人種	: アフリカ人 99.66% (マクア族, ツオンガ族, ロムウェ族, セナ族, その他), ヨーロッパ人 0.06%, ユーロ-アフリカン 0.2%, インド人 0.08%
⑤ 言語	: ポルトガル語 (公用語), マクア-ロムウェ語, ツオンガ語, セナ-ニャンジャ語
⑥ 宗教	: カトリック 23.8%, イスラム教 17.8%, シオニストクリスチャン 17.5%, その他 17.8%, 無宗教 23.1%
⑧ 略史	: 1975年に独立。モザンビークは世界の最貧国の中でも最も貧しい国の一つであり、1977年から1992年までの長い内戦が更にその状況を悪化させていた。

**Before (1996)**



**Virgin Bush**

GDP: 29億米ドル  
GDPPC: 180米ドル



**After (2005)**



**Cutting Edge Facility**

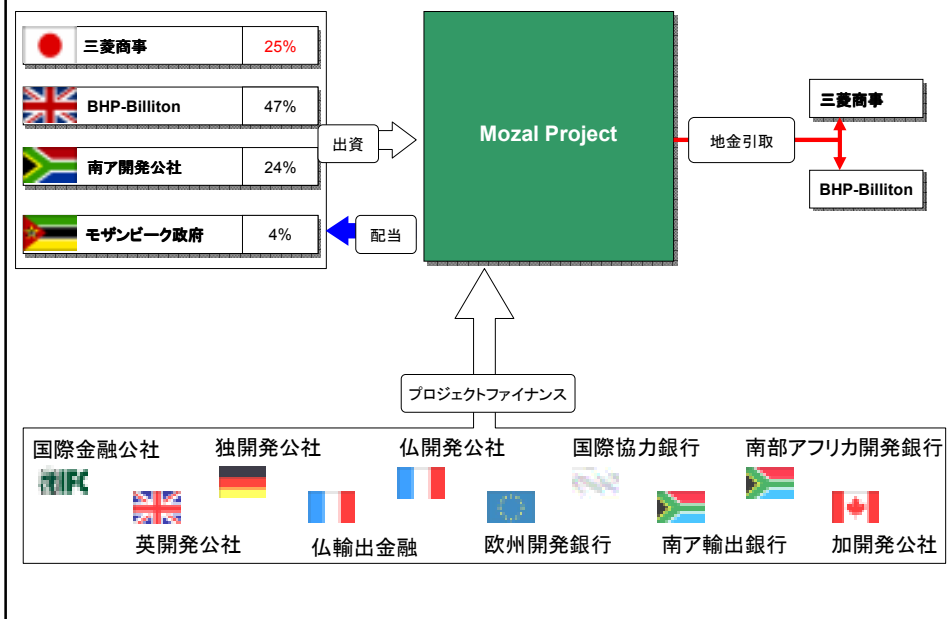
GDP: 65億米ドル  
GDPPC: 331米ドル

Data Source: IMF World Economic Outlook

## モザール概要

	Mozaal S.A.R.L	Mozaal Phase 1	Mozaal Phase 2
① 事業内容	アルミ地金製錬工場		
② 所在地	モザンビーク/マプト近郊		
③ 建設開始	1998年5月		2001年6月
④ 稼働開始	2000年6月		2003年4月
⑤ 年間生産能力	280千トン		280千トン
⑥ 株主構成及び資本金	株主構成及び資本金		
	三菱商事	25 %	
	BHP Billiton	47 %	
	南ア開発公社	24%	
	モザンビーク政府	4%	
⑦ 総所要資金	約1,200百万ドル		約710百万ドル
⑧ 従業員数	1,135人(2006年8月末時点)		
⑨ 製錬技術	AP35(Pechiney技術)---導入時のAP30から2006年初旬にUpgrade		
⑩ 電力供給	南アフリカより買電。		
⑪ アルミナ供給	豪州より調達。		
⑫ アルミ地金引取	出資比率応分引取契約。		

## モザール プロジェクトスキーム



## 投資決定要因

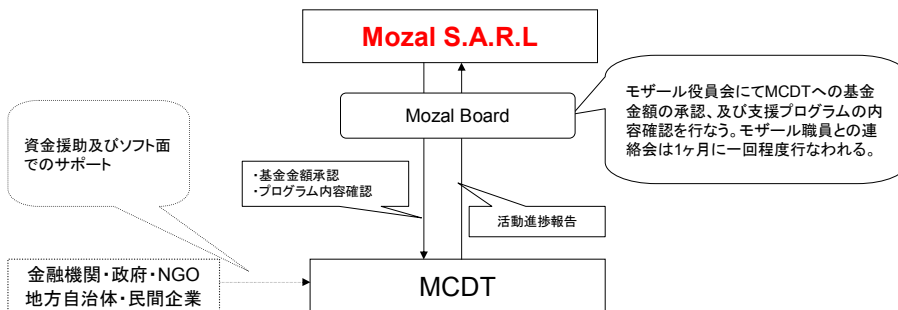


## モザールCSR活動

### Mozal Community Development Trust (MCDT)概要

#### 沿革/概要

1. Mozal Community Development Trust (MCDT)は地域社会への貢献を主目的とした非営利組織であり、2001年1月にモザール株主により組成され活動を開始。
2. 年度別予算、各支援プログラムの内容・進捗を開示しており、透明性の高い活動。
3. モザールは今までに毎年約2.5百万ドルを基金として寄付。2006年度からは寄附金を5.0百万ドルに増額。



## MCDT活動理念

### 1. 標語

“Together we make a difference”

地域社会との融和による持続可能な成長を目指す事を示す標語

### 2. 活動理念

- 国家、地方自治体の貧困対策と整合性の有る地域社会支援プログラムの導入
- モザンビークに於ける他地域での類似Pilot Projectを形成する媒体となる
- 持続可能な成長を達成する為、他組織(IFC等)との幅広い協調活動を築く
- 政府、NGO、地方自治体、民間企業の全てのセクターを活動に関連させる

### 3. 主な支援分野

- 小規模ビジネス支援
- 教育支援
- 衛生・環境支援
- スポーツ&文化支援
- 社会インフラ支援

## MCDT活動写真



支援を行なっている養鶏場



農業支援



女性によるカーペット生産



教員向け再教育



大学向けコンピューター供与



初等教育支援



医療機関向け機材供与



伝染病対策セミナー



国立公園への支援

MCDT活動写真



スポーツ大会開催



展覧会への支援



スポーツチームへのユニフォーム供与



救急医療センター



教室建設



学校建設